

9041

対象疾患	非代償性肝硬変
使用する治験薬剤	自己骨髄間葉系幹細胞
治験デザイン	第 I / II 相試験 採取された自己骨髄液を用いて 2~3 継代, 約 3~5 週間培養後、肝動脈から経カテーテル的に単回投与する。
	以下の条件を満たす方が対象となります。 1) 20 歳以上 75 歳以下 2) Child-Pugh スコアが 7~12 点で以下のいずれかで確認された肝硬変 a. 肝生検で肝硬変がみられる b. 画像検査（腹部超音波又は CT 検査又は MRI 検査）で肝硬変がみられる, 又は FibroScan の結果が 12.5kPa 超である 3) アルコールに起因する肝硬変の場合, 同意前半年以上飲酒がない 4) 活動性の悪性新生物を合併していない 5) 破裂の危険性を有する食道・胃静脈瘤を合併していない 6) 易出血症状がみられない 7) 各臓器機能が規定内に保たれている 8) 骨髄液を採取することができる 9) 現在、他の治験又は臨床研究に参加していない ※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。
治験責任医師	消化器内科 山下 太郎
研究代表者	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学 高見 太郎
jRCT-No.	jRCT2063200014
備考（企業 HP 等）	